



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月27日

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社
 コード番号 9962 URL <https://www.misumi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 龍隆

問合せ先責任者 (役職名) ファイナンスプラットフォーム (氏名) 高波 徹
 代表執行役員 CFO

TEL 03-5805-7401

四半期報告書提出予定日 2021年2月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	223,014	5.4	17,533	3.2	17,459	1.1	12,183	5.7
2020年3月期第3四半期	235,786	5.6	18,109	20.2	17,648	22.1	12,919	20.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 13,106百万円 (21.6%) 2020年3月期第3四半期 10,779百万円 (30.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	42.91	42.76
2020年3月期第3四半期	45.54	45.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	268,480	221,520	81.6
2020年3月期	264,684	211,630	79.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 218,966百万円 2020年3月期 209,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.51		7.04	14.55
2021年3月期		5.91			
2021年3月期(予想)				7.22	13.13

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	4.3	20,900	11.6	20,500	11.8	14,900	9.7	52.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	284,071,097 株	2020年3月期	284,028,197 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	129,618 株	2020年3月期	129,616 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	283,912,017 株	2020年3月期3Q	283,658,706 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大や米中貿易摩擦の影響が続くものの、20年10月-12月期は中国の経済回復が継続していることに加え、米州・欧州・アジアの景況も持ち直し始め、製造業の設備投資、稼働も緩やかな回復基調となりました。日本においては半導体関連など一部の産業に回復が見られたものの、本格的な設備投資需要の回復には至りませんでした。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響により、グローバル製造業の景況は先行き不透明な状況が続くと懸念されます。

こうした環境の中においても、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業に貢献しています。新型コロナウイルスの影響が続いている中、これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、世界の顧客に対して安定供給を継続し短納期ニーズに対応しました。第3四半期累計は、グローバルで景況は回復基調にあるものの、上期に製造業の設備投資が低迷した影響により、売上高、利益ともに前年比減少となりました。

この結果、連結売上高は2,230億1千4百万円（前年同期比5.4%減）となりました。利益面につきましては、売上減少の影響が大きいものの、コスト削減を徹底した結果、営業利益は175億3千3百万円（前年同期比3.2%減）、経常利益は174億5千9百万円（前年同期比1.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は121億8千3百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

・報告セグメントの業績

①FA事業

FA事業は、中国が好調に推移していることに加え、海外は各地域とも回復傾向にあるものの、日本の低迷が続き、売上高は740億5千5百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益については、コスト削減を徹底した効果により、104億9千7百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、自動車関連業界で持ち直しが見られましたが、上期不振の影響が大きく、売上高は485億2千万円（前年同期比12.4%減）、営業利益については、販売減少の影響が大きく、30億6千1百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品、製造副資材、MRO（消耗品）等を販売するミスミグループの流通事業です。中国に加え、欧州・米州も好調に推移していますが、日本のマイナス成長が続き、売上高は1,004億3千8百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益については、販売減少の影響により、39億7千5百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ37億9千5百万円(+1.4%)増加し、2,684億8千万円となりました。この主な要因は、現金及び預金、商品及び製品の増加などにより流動資産が68億5千6百万円(+3.9%)増加した一方で、有形固定資産が22億6千9百万円(△5.0%)減少し、無形固定資産が8億7千2百万円(△2.7%)減少したことによるものです。

総負債は、前連結会計年度末と比べ60億9千4百万円(△11.5%)減少し、469億5千9百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金、未払金、未払法人税等の減少などにより流動負債が58億7千8百万円(△14.5%)減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ98億8千9百万円(+4.7%)増加し、2,215億2千万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加などにより株主資本が85億9千5百万円(+4.0%)増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度の79.2%から81.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ149億2百万円増加し、593億4千1百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、229億2千7百万円の純収入となりました(前年同期は201億6千万円の純収入)。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が160億9千1百万円、減価償却費が112億1千8百万円、売上債権の減少額が12億1千6百万円、たな卸資産の減少額が3億2千万円、仕入債務の減少額が15億5千5百万円、法人税等の支払額が64億9千4百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、37億1千6百万円の純支出となりました(前年同期は67億3千5百万円の純支出)。この主な内訳は、固定資産の取得による支出が109億1千2百万円、定期預金の預入による支出が15億3千3百万円、定期預金の払戻しによる収入が83億4千9百万円、敷金及び保証金の差入による支出が2億4千4百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、51億3千2百万円の純支出となりました(前年同期は55億2千4百万円の純支出)。この主な内訳は、配当金の支払額が36億7千6百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2020年7月30日に公表いたしました連結業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,646	59,539
受取手形及び売掛金	63,178	63,113
商品及び製品	46,506	46,846
仕掛品	2,391	2,277
原材料及び貯蔵品	6,280	6,038
その他	6,633	5,740
貸倒引当金	△242	△305
流動資産合計	176,395	183,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,469	14,194
機械装置及び運搬具(純額)	15,344	16,035
土地	4,249	3,938
その他(純額)	13,440	9,065
有形固定資産合計	45,503	43,233
無形固定資産		
ソフトウェア	25,734	25,302
その他	6,600	6,159
無形固定資産合計	32,334	31,461
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
その他	10,651	10,737
貸倒引当金	△206	△210
投資その他の資産合計	10,451	10,532
固定資産合計	88,289	85,228
資産合計	264,684	268,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,448	16,302
未払金	9,961	6,250
未払法人税等	2,658	1,658
賞与引当金	2,463	1,855
役員賞与引当金	30	18
その他	8,029	8,627
流動負債合計	40,592	34,713
固定負債		
退職給付に係る負債	6,008	6,541
その他	6,454	5,704
固定負債合計	12,462	12,246
負債合計	53,054	46,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,231	13,275
資本剰余金	23,586	23,631
利益剰余金	177,317	185,824
自己株式	△78	△78
株主資本合計	214,057	222,653
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,455	△3,611
退職給付に係る調整累計額	△88	△75
その他の包括利益累計額合計	△4,543	△3,686
新株予約権	1,560	1,963
非支配株主持分	555	590
純資産合計	211,630	221,520
負債純資産合計	264,684	268,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	235,786	223,014
売上原価	135,273	127,426
売上総利益	100,513	95,588
販売費及び一般管理費	82,404	78,054
営業利益	18,109	17,533
営業外収益		
受取利息	202	220
雑収入	309	259
営業外収益合計	511	479
営業外費用		
売上割引	55	55
為替差損	684	220
固定資産除却損	89	115
雑損失	144	161
営業外費用合計	972	553
経常利益	17,648	17,459
特別損失		
減損損失	—	1,132
その他	—	236
特別損失合計	—	1,368
税金等調整前四半期純利益	17,648	16,091
法人税等	4,687	3,879
四半期純利益	12,960	12,212
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,919	12,183

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	12,960	12,212
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,177	881
退職給付に係る調整額	5	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△0
その他の包括利益合計	△2,180	894
四半期包括利益	10,779	13,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,707	13,040
非支配株主に係る四半期包括利益	72	66

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,648	16,091
減価償却費	9,539	11,218
減損損失	—	1,132
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	635	543
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△659	△625
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	60
受取利息及び受取配当金	△207	△226
支払利息	88	51
株式報酬費用	507	490
為替差損益 (△は益)	△20	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△43	△22
固定資産除却損	89	115
売上債権の増減額 (△は増加)	3,887	1,216
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,525	320
未収消費税等の増減額 (△は増加)	503	815
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,434	△1,555
未払金の増減額 (△は減少)	△934	△1,514
その他の資産の増減額 (△は増加)	404	193
その他の負債の増減額 (△は減少)	917	597
小計	26,384	28,891
利息及び配当金の受取額	215	243
利息の支払額	△88	△51
法人税等の還付額	6	339
法人税等の支払額	△6,357	△6,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,160	22,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△15,067	△10,912
固定資産の売却による収入	49	75
定期預金の預入による支出	△1,058	△1,533
定期預金の払戻による収入	9,795	8,349
敷金及び保証金の差入による支出	△678	△244
敷金及び保証金の回収による収入	118	523
その他	105	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,735	△3,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	81	0
配当金の支払額	△5,247	△3,676
リース債務の返済による支出	△359	△1,454
その他	0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,524	△5,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	△769	822
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,130	14,902
現金及び現金同等物の期首残高	41,753	44,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,884	59,341

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大は、製造業の設備投資需要や顧客の稼働に影響を与えておりますが、グローバル製造業の景況は2021年3月期の第1四半期を底に、下期に向けて緩やかに回復するものと仮定し、たな卸資産の評価、固定資産の減損会計、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。また、当該会計上の見積りの仮定について、前連結会計年度末から重要な変更はありません。

なお、この仮定は新型コロナウイルス感染拡大など、さらなる事業環境の悪化を想定していないことに加え、感染拡大の収束時期等、様々な要因に大きく影響を受けるため、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	74,560	55,408	105,818	235,786	—	235,786
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	74,560	55,408	105,818	235,786	—	235,786
セグメント利益	9,533	4,039	4,537	18,109	—	18,109
のれん等償却前セグメント利益※	9,533	4,494	4,537	18,564	—	18,564

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	74,055	48,520	100,438	223,014	—	223,014
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	74,055	48,520	100,438	223,014	—	223,014
セグメント利益	10,497	3,061	3,975	17,533	—	17,533
のれん等償却前セグメント利益※	10,497	3,502	3,975	17,975	—	17,975

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(補足情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
125,329	39,620	33,689	20,954	11,977	4,215	235,786

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
17,024	8,194	8,052	4,129	8,903	46,304

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
110,768	46,633	30,732	19,662	11,599	3,618	223,014

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
16,655	7,354	6,637	4,574	8,012	43,233